

剣道用具確認事項

1 竹刀関連

- 竹刀の長さが適正である
- 竹刀の重さが適正である
- 竹刀の太さが適正である
- 破損及びささくれはない
- 中結の位置（=全長の1/4）及び結び方が適正である
- 各ピース（竹）間に著しい隙間がない
- 安全性を著しく損なう加工・形状変更及び華美な装飾（彫り物）等はない

2 小手

- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部）の1/2以上を保護している
- 小手布団部のえぐり（クリ）の深さは小手布団部最長部と最短部の差が2.5cm以内である
- 小手頭部・小手布団部の十分な衝撃緩衝能力がある

3 面

- 肩関節の保護ができる面布団の長さが確保されている
- 面布団の十分な衝撃緩衝能力がある

4 剣道着

- 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節がかくれている）